簿記実務検定試験 CBT 受験マニュアル

第 1 版

株式会社イー・コミュニケーションズ

作成日：　2025/1/10

最終更新日：　2025/3/18

目次

主な操作方法 2

試験開始前 2

試験開始後 3

出題形式・解答方法について 4

各問題共通の解答方法など 4

1 仕訳（1 ページ目） 5

2 伝票（2、3 ページ目） 5

3 帳簿記入（4 ページ目） 6

4 用語と計算（5 ページ目） 9

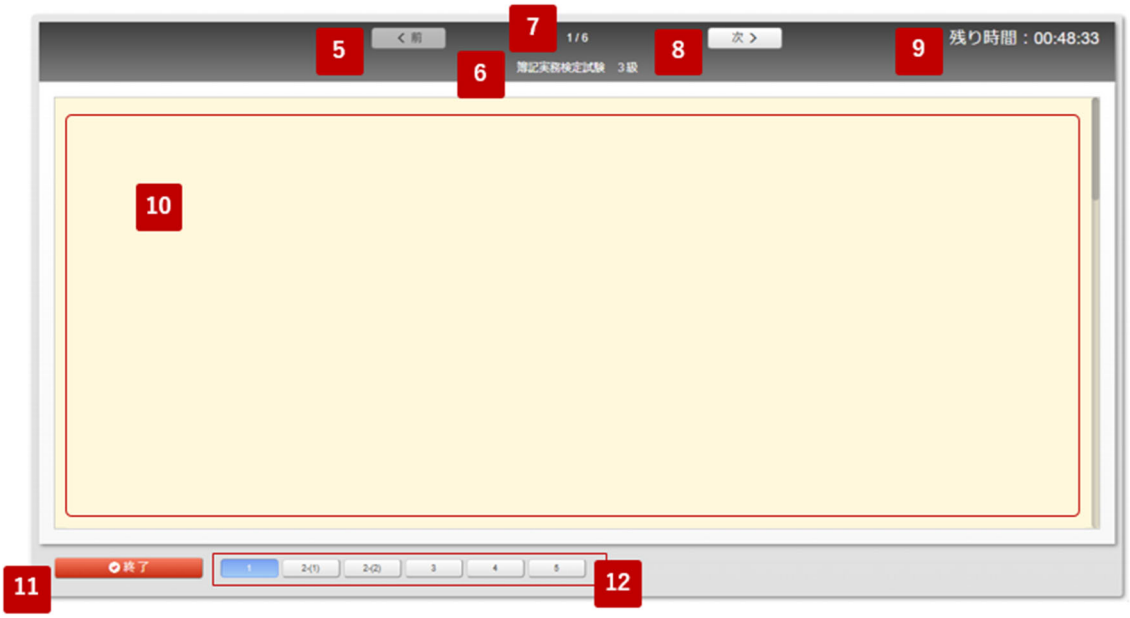
5 決算（6 ページ目） 10

主な操作方法

試験開始前

1	試験名	実施する試験の名称が表示されます。
2	実施時間	試験の制限時間が表示されます。制限時間に達すると解答ができなくなります。
3	実施案内	実施にあたっての注意事項などが表示されます。必ずお読みください。
4	開始	クリックすると試験が開始され、試験時間の計測が始まります。

試験開始後



5	ページ移動（前ページへ）	前のページへ移動するボタンです。(先頭のページではクリックできません)
6	試験名	実施中の試験の名称が表示されます。
7	表示中ページ / 全体ページ数	実施中試験の全体ページ数のうち、何ページ目を表示しているかが表示されます。
8	ページ移動（次ページへ）	次のページへ移動するボタンです。(最後のページではクリックできません)
9	残り時間	制限時間に対する残り時間が表示されます。時間切れになると解答できなくなり終了ボタンが表示されます。クリックして試験を終了してください。　※下記「制限時間終了時」を参照
10	設問	試験の問題が表示されます。詳しくは「出題形式・解答方法について」をご参照ください。
11	終了	クリックすると解答情報をアップロードして試験を終了します。終了する際には必ずこのボタンをクリックしてください。 ※下記「終了ボタンクリック時」を参照
12	ページ移動 （分類指定）	出題分類ごとのページの一覧表が表示されます。クリックすることで対象のページに移動することができます。

終了ボタンクリック時

上記メッセージが表示されます。

「はい」をクリックすると試験を終了します。

「いいえ」をクリックすると試験を続行できます

制限時間終了時

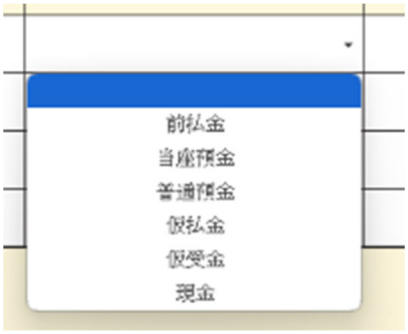
上記メッセージが表示されます。

「終了」をクリックすると試験を終了します。

出題形式・解答方法について

各問題共通の解答方法など

・各問題では選択や入力を行う解答可能な箇所は背景が白くなっています。



・選択可能な箇所はクリックすると選択候補が表示されますので
選択して解答します。
※選択候補の先頭の空欄を選択すると未選択状態に戻せます。

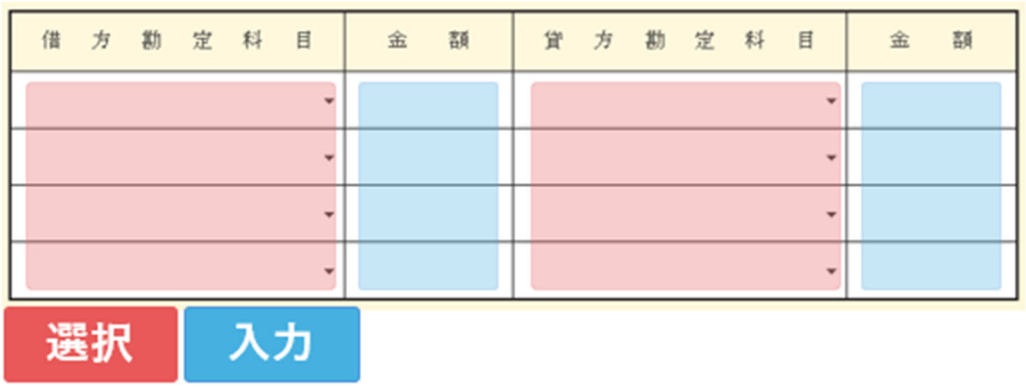
・入力可能な箇所のうち、金額を入力する箇所については数値を入力して解答します。
金額は入力桁数に応じて自動的に「,」（カンマ）が入力されます。
それぞれ入力した内容は「Delete」や「Back space」キーなどで消去し、入力をやり直すことができます。

・各ページには拡大／縮小ボタンが設置されています。
A：クリックすると拡大します
B：クリックすると縮小します
C：クリックすると初期表示の大きさに戻ります

・各ページの一番下の部分に「次へ」ボタンが表示されています。
クリックすると次のページへ移動します。（最終ページではクリックできません）

1 仕訳（1 ページ目）

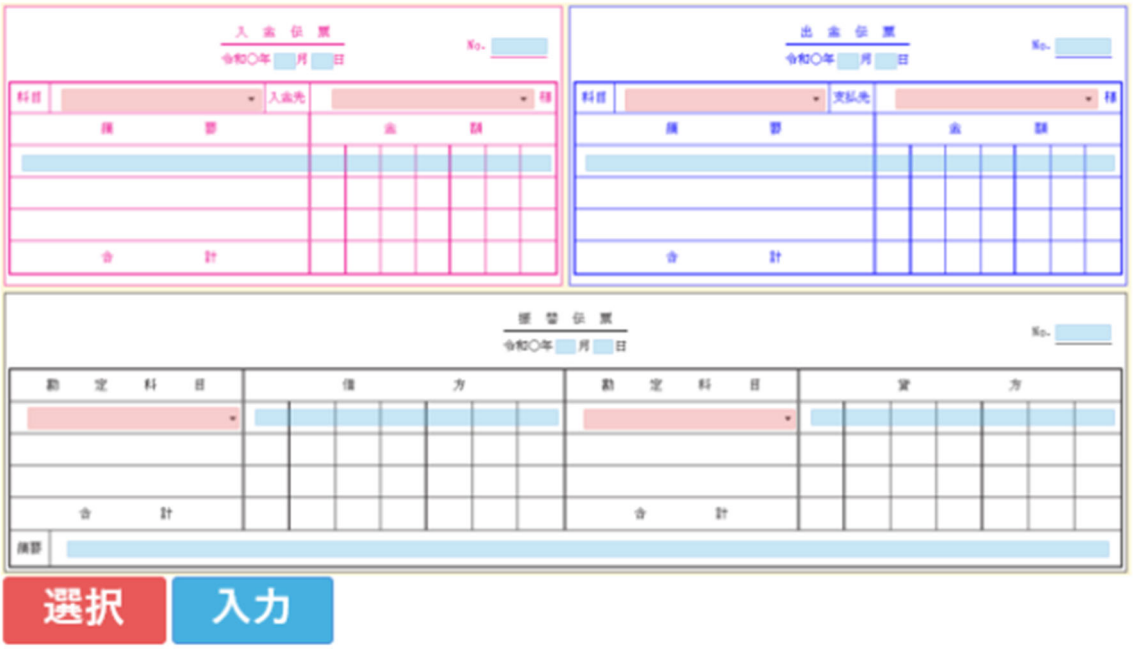
問題文を読み、借方、貸方の勘定科目と金額を解答します。
ページ内には 6 問表示されていますので画面を下にスクロールして解答してください。



勘定科目は選択、金額は入力して解答します。
※図は一例です。

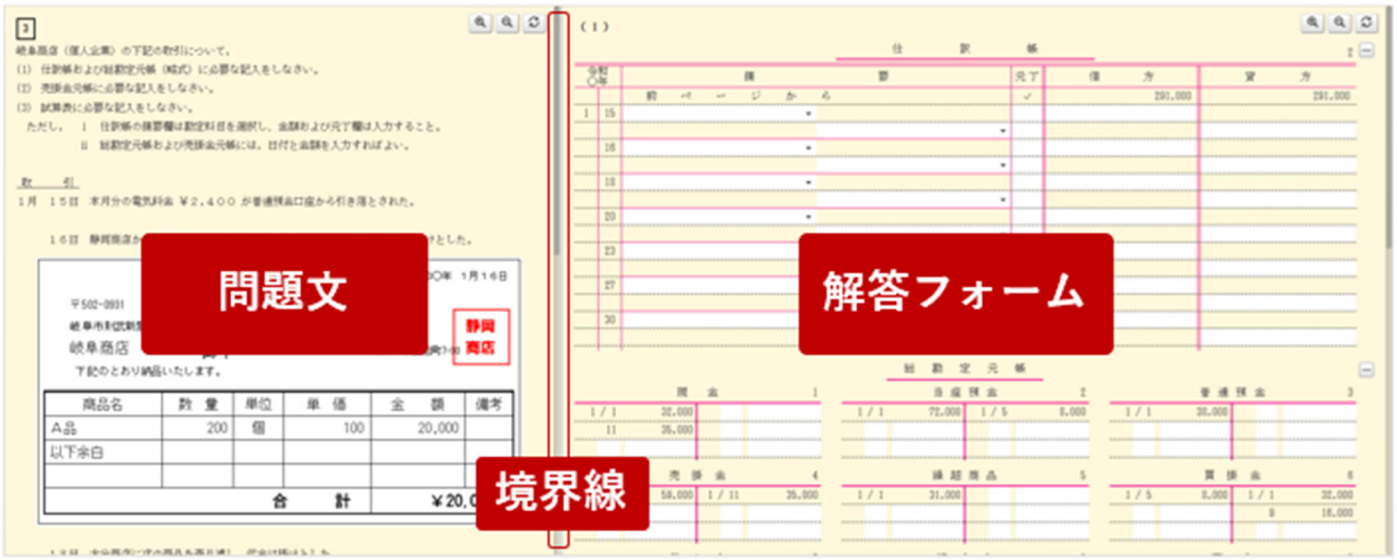
2 伝票（2、3 ページ目）

問題文を読み、入金伝票、出金伝票、振替伝票のうち、いずれかの伝票に記入を行って解答します。
各伝票はそれぞれ 1 行目のみ解答できるようになっています。



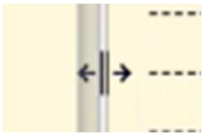
・日付（月／日）、No. は数値を入力して解答します。
・科目（勘定科目）、入金先（入金伝票）、支払先（出金伝票）は選択して解答します。
・金額は一桁ずつ数値を入力して解答します。最上位の桁にカーソルを合わせて一桁入力すると
自動的に右側の桁に入力カーソルが移動します。
※合計金額は自動的に転記表示されます。
・摘要には適切な内容を入力して解答します。
※図は一例です。

3 帳簿記入（4 ページ目）



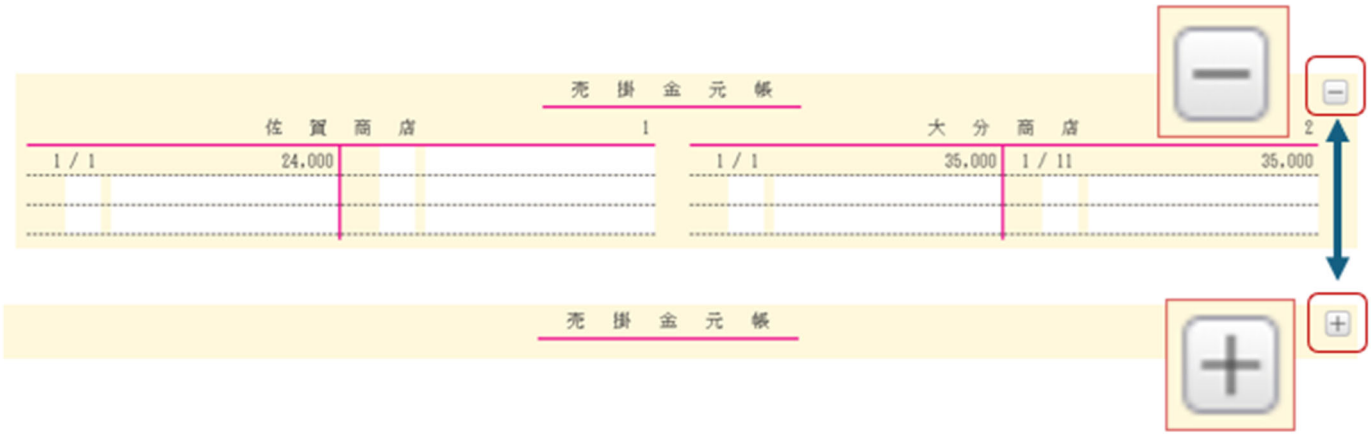
画面が左右に分割されています。左側に表示される問題文を読み、右側に表示されている解答フォームで解答します。

※左右の画面はそれぞれ別々にスクロールすることができます。



左右を分割している境界線は、マウスを載せると図のようになり左右にドラッグすることができます。

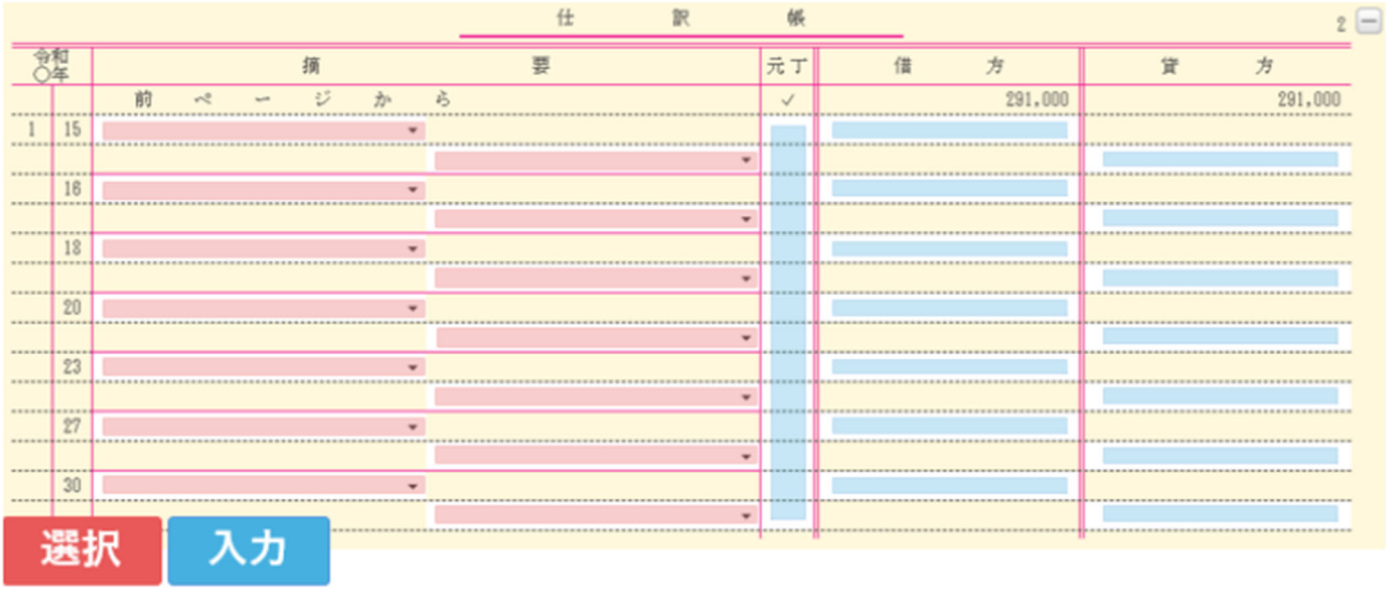
※画面のサイズによってドラッグできる範囲が異なるため、ドラッグできない場合もあります。



各帳簿の右上部分に表示されている「－」ボタンをクリックすると帳簿を折りたたむことができます。

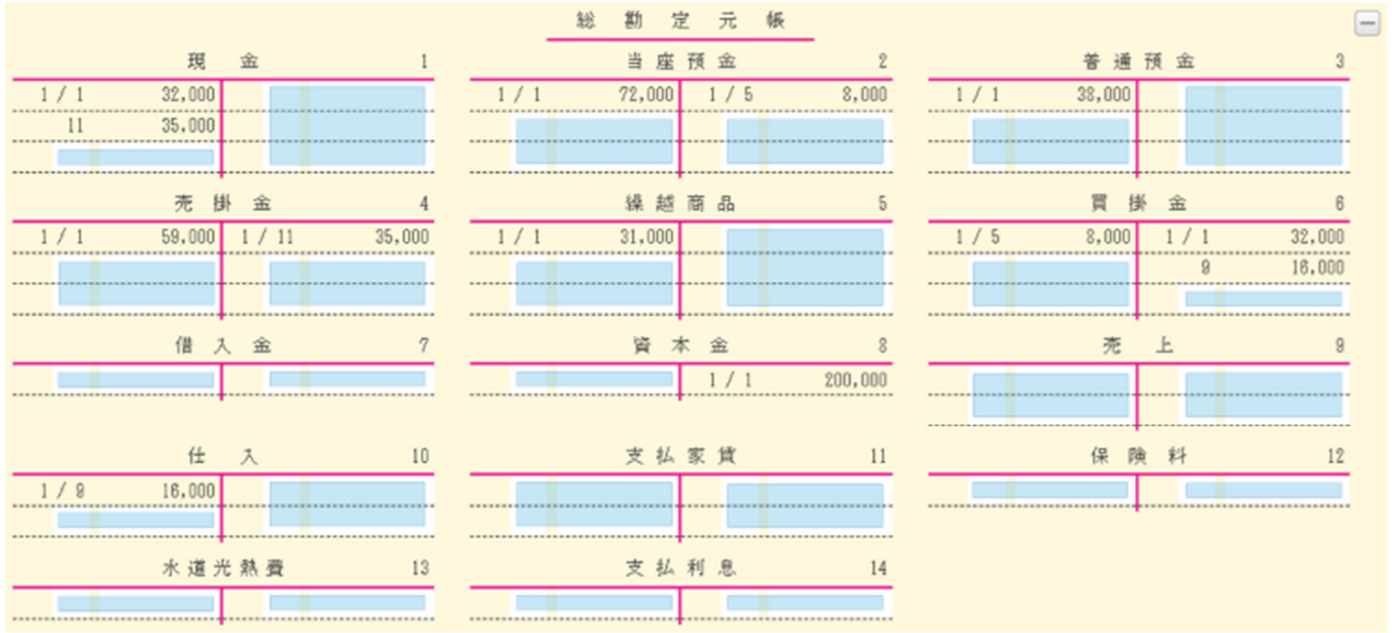
帳簿が折りたたまれるとボタンは「＋」に変化し、もう一度クリックすると再び表示することができます。

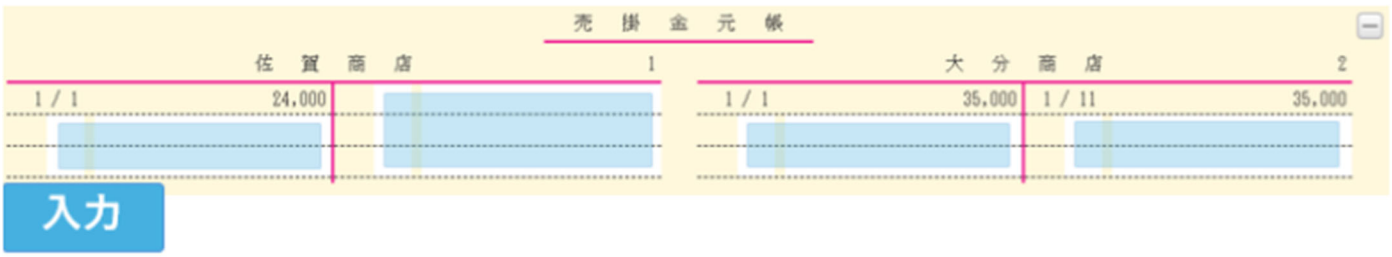
仕訳帳



摘要は勘定科目を選択、元丁は数値を入力、借方、貸方には金額を入力して解答します。
※図は一例です。

総勘定元帳、補助元帳（略式）





日付、金額を入力して解答します。（日付の入力は「日」のみとなります）
※図は一例です。

試算表

残　高　試　算　表

令和〇年1月31日

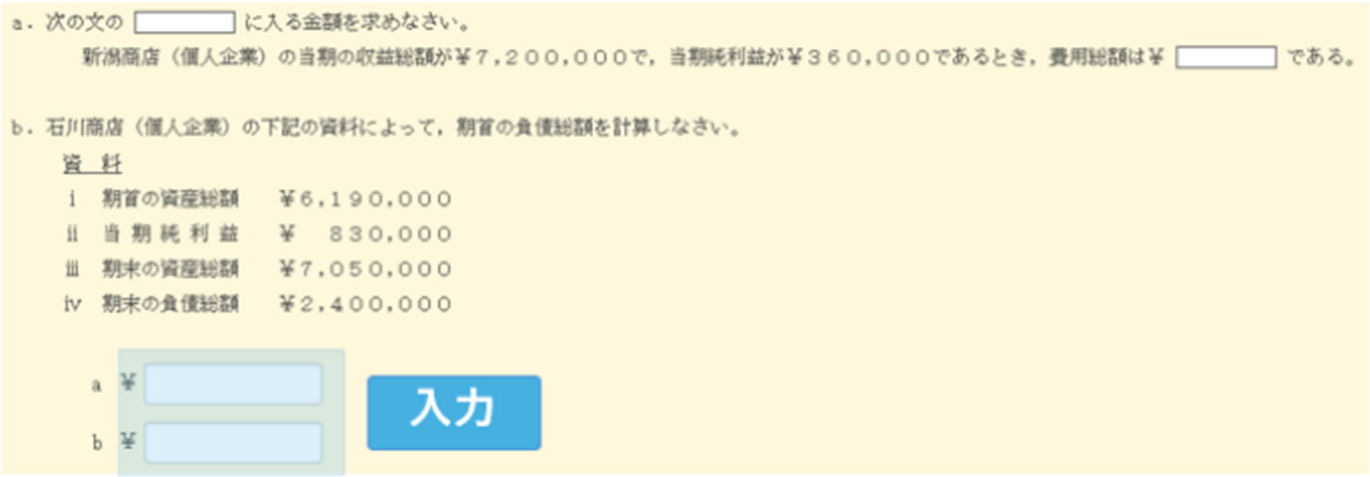
借　方	元丁	勘定科目	貸　方
62,700	1	現　金	
	2	当　座　預　金	
	3	普　通　預　金	
	4	売　掛　金	
	5	繰　越　商　品	
	6	買　掛　金	
	7	借　入　金	
	8	資　本　金	
	9	売　上	
	10	仕　入	
	11	支　払　家　賃	
	12	保　険　料	
	13	水　道　光　熱　費	
	14	支　払　利　息	

借方、貸方に金額を入力して解答します。

※図は一例です。

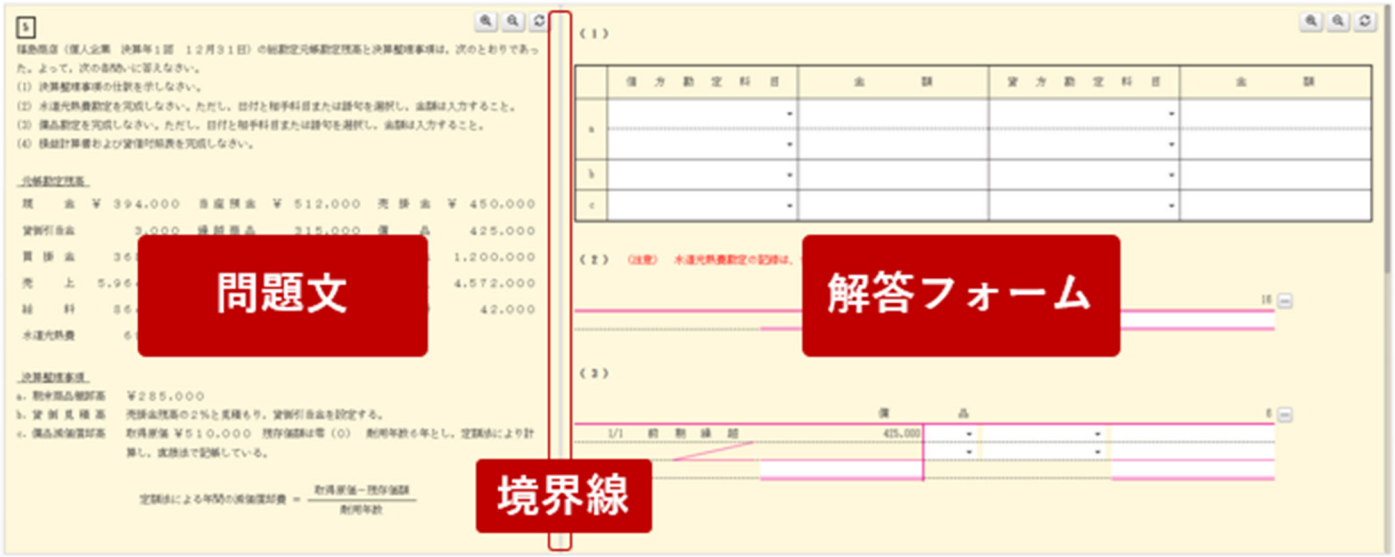
4 用語と計算（5 ページ目）

複数の選択肢から解答一つを選ぶ問題と、金額を入力して解答する問題があります。
それぞれ問題文を読み、解答してください。
※ページ内には複数問表示されていますので画面を下にスクロールして解答してください。



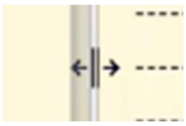
※図は一例です。

5 決算（6 ページ目）



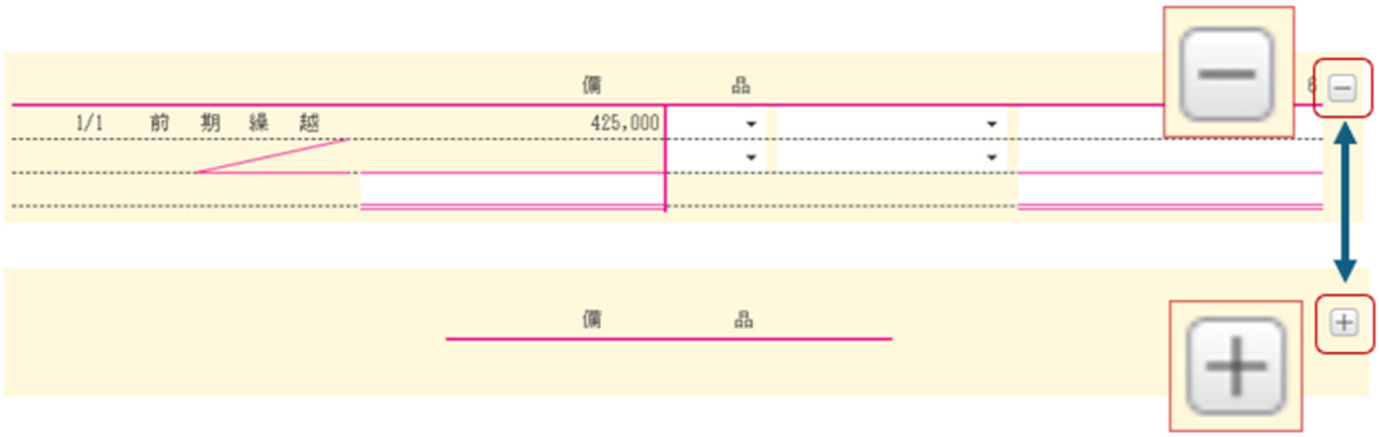
画面が左右に分割されています。左側に表示される問題文を読み、右側に表示されている解答フォームで解答します。

※左右の画面はそれぞれ別々にスクロールすることができます。



左右を分割している境界線はマウスを載せると図のようになり左右にドラッグすることができます。

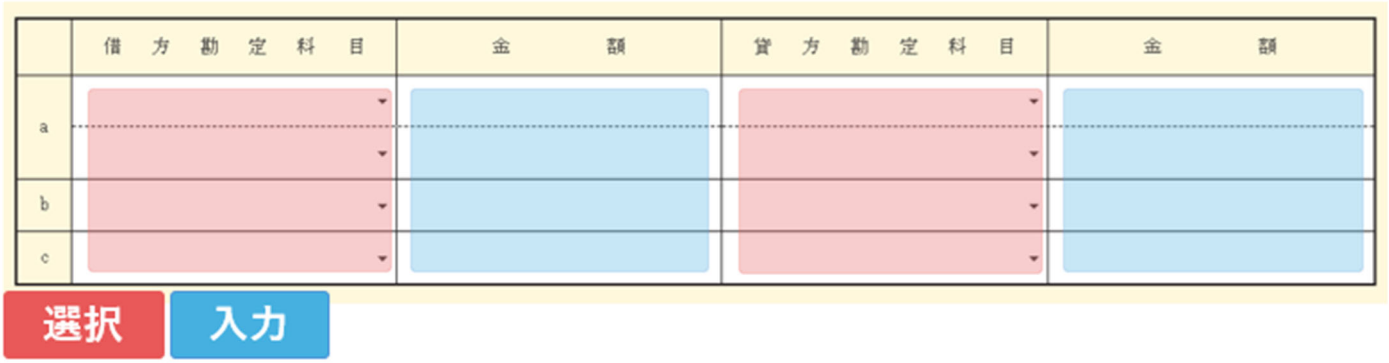
※画面のサイズによってドラッグできる範囲が異なるため、ドラッグできない場合もあります。



各帳簿の右上部分に表示されている「－」ボタンをクリックすると帳簿を折りたたむことができます。

帳簿が折りたたまれるとボタンは「＋」に変化し、もう一度クリックすると再び表示することができます。

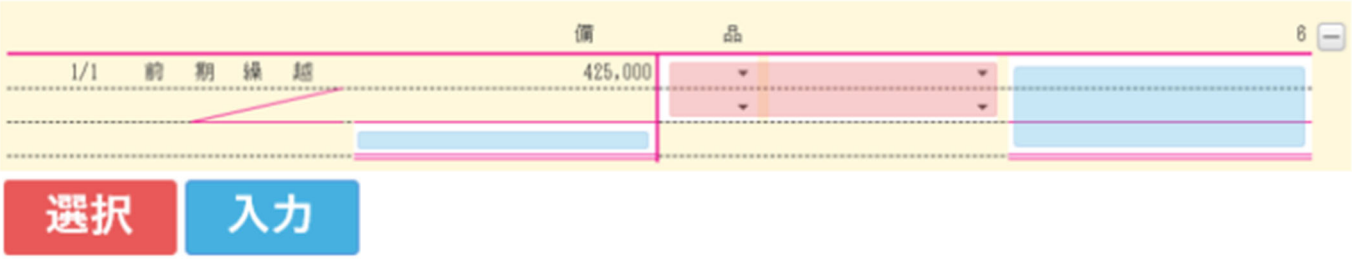
仕訳



借方、貸方の勘定科目は選択、金額は入力して解答します。

※図は一例です。

勘定記入

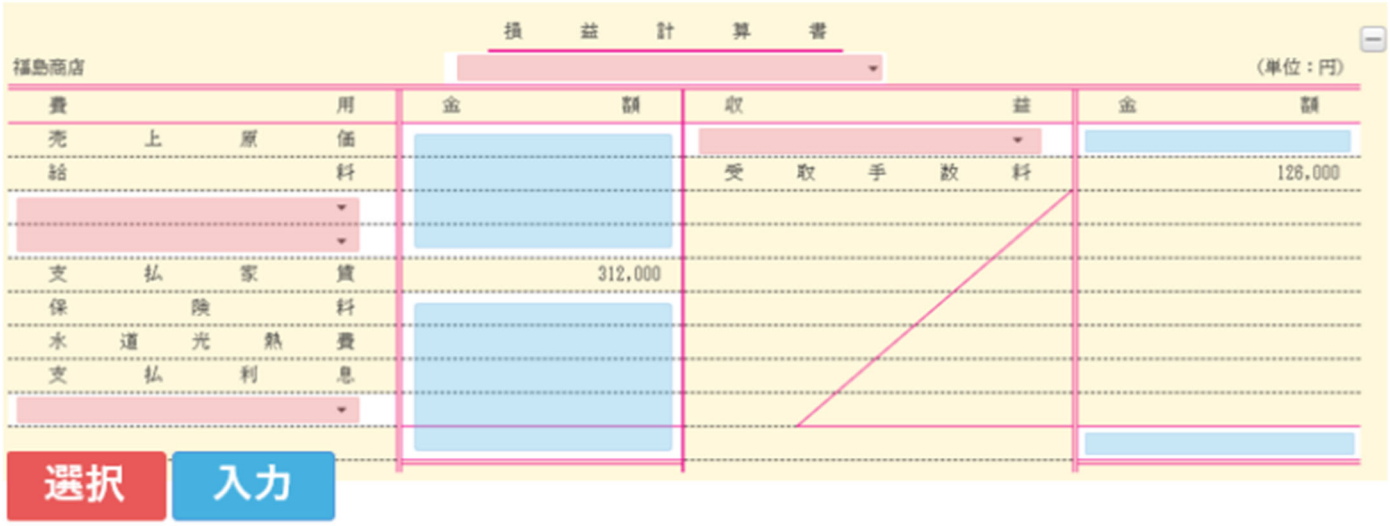


日付と勘定科目は選択、金額は入力して解答します。

繰越記入は、黒で表示します。

※図は一例です。

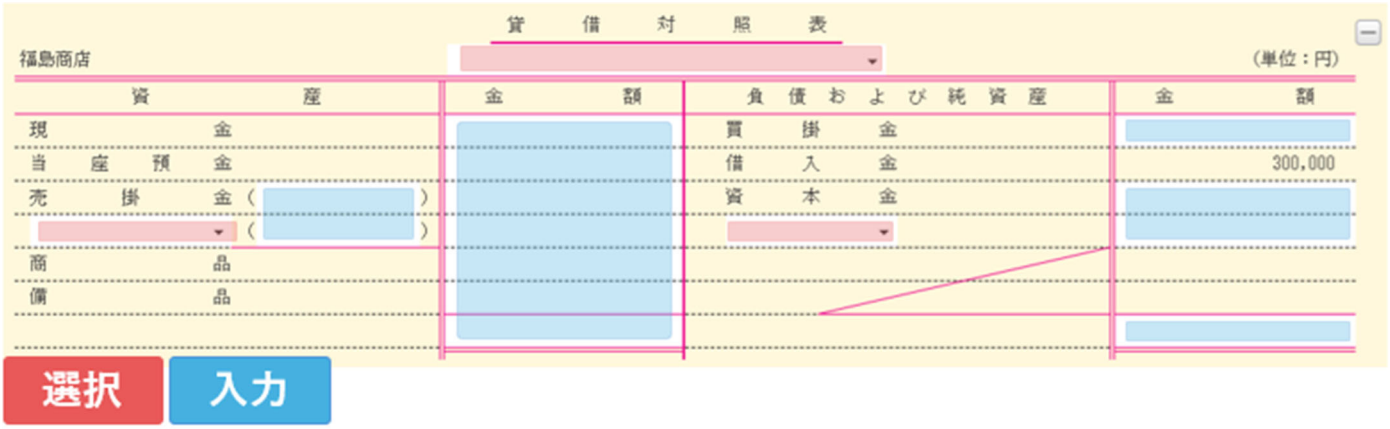
損益計算書



表題下の部分、「費用」と「収益」は選択、金額は入力して解答します。

※図は一例です。

貸借対照表



表題下の部分、「資産」と「負債および純資産」は選択、「資産」の（　）で示された箇所と「金額」の部分は入力して解答します。

※図は一例です。

精算表

表題下の部分、勘定科目列（一部）は選択、整理記入、損益計算書、貸借対照表の借方、貸方は金額を入力して解答します。

※図は一例です。